

町への功績を たたえて

11月3日、山村開発センター大ホールにおいて、長年にわたり各分野で、まちづくりに貢献された方への功労者表彰が行われました。

災害の防止に貢献(社会功労賞)



上士幌町字上士幌東3線242番地
(10の1区)

故 武藤 敏美さん

(写真:ご家族提供)

自営業の傍ら、消防団員として昭和43年5月に入団以来、班長、部長、副分団長の階級を歴任し、昼夜をわかつたず火災や災害の防止に努められるなか、平成15年9月までの35年4カ月にわたり、郷土の発展と地域防災活動に奉職され、消防団幹部として本町消防組織の運営と発展に寄与されました。

産業の振興に貢献(産業功労賞)



上士幌町字上士幌東1線248番地
(16区)

熊谷 信義さん

平成4年5月から平成25年6月

まで21年1カ月の長期にわたり上士幌町農業協同組合理事として本町の基幹産業である農業振興に尽力されました。この間、平成13年6月からの12年間は、専務理事として農業経営の安定と地域の振興に大きく貢献されました。

さらには、上士幌町農業委員会委員を12年、その他各種附属機関の委員を歴任されるなど、本町の産業振興の進展に寄与されました。

民生の安定に貢献(社会功労賞)



上士幌町字上士幌東6線245番地
(17区)

西原 竹一さん

平成4年12月から現在までの20年8カ月にわたり、民生委員・児童委員として地域福祉の向上に尽力され

ました。

この間、平成10年12月からは上士幌町民生委員・児童委員協議会副会長として、平成22年12月からは会長として地域住民の福祉向上と民生の安定に大きく貢献されました。

また、社会福祉協議会評議員や上士幌福寿協会理事を歴任されるなど、本町の社会福祉の進展に寄与されました。

長寿・永住特別功労者

50名を表彰

満80歳以上で50年以上本町に在住している方のうち、新たに該当することとなった50名の方を長寿・永住特別功労者として表彰しました。

功労者には、町長から感謝状が贈呈されました。



【長寿・永住特別功労者(敬称略)】

1区▽伊藤ヨシ子、小林花代、武田繁雄、山本富喜、2区▽小林澄子、篠原勝美、篠原美智子、3の2区▽小野寺敬子、工藤花子、佐藤しず江、千代タカ、宗重仁、吉川花子、坂田和子、4区▽大塚正義、野村正徳、7の1区▽中川朝子、7の2区▽石井供子、成田洋子、原子初子、日野哲夫、8区▽池原嘉治、9区▽大沼廣治、田中徳恵、土屋保、丸山智子、10の1区▽菅原昭二、西村幸子、藤田恵美子、10の2区▽荒井洋子、角田芳子、11の1区▽赤石富美子、岡安一五、11の2区▽児玉博、但野和子、谷内京子、12区▽藤川トミ、14区▽楠朝子、布谷利雄、15区▽太田澄子、萩ヶ岡▽伊東文、菅原たかね、北居辺▽菅原保子、須田ハル子、横田岩男、横田たけよ、須藤エミ子、東居辺▽森本静夫、北門▽泉田トキ子、ぬかびら源泉郷▽船戸薫

上士幌高校の新1年生のアンケート結果から

「先生方の指導」や「振興会の支援」

などに魅力

上士幌高校振興会では、上士幌高校(以下、上高)の2間口維持を図るために各種の支援策を講じています。そして、上高生がどのような学校生活を送り、何をニーズとして持っているかを知ることが上高支援を一層充実させる手がかりとなることから、例年、アンケート調査を実施しています。今年度は7項目にわたり調査(対象者62人 回答者54人)を行い、次のような傾向が見られました。

Q1 入学前、あなたは上士幌高校に、どのような魅力を感じていましたか。

上高に対する入学前の関心が高くなり、今年度は、「特にありません」「無回答」の数が減っています。内容的には、学校の教育活動・先生方の指導などの教育機能や、振興会の支援策を魅力としてあげる生徒が多い結果となっています。特に、支援策については浸透度が高まり、本町の独自な取り組みである「学校給食」も好感を持たれています。

Q2 入学前と後で、上士幌高校のイメージは変わりましたか。

入学後に、6割近くの生徒が「先生方の分かりやすい指導」「良好な人間関係」「学校生活の楽しさ」「振興会の支援策」などを理由として、肯定的にイメージを変化させています。また、「変わりません」と回答した生徒も、「上高の良さ」は認識している様子が見受けられます。



▲上高仮装パフォーマンス(7月)

Q3 あなたは、上士幌高校で目標にしていることはありますか。それは何ですか。

今回の調査では、「特にありません」を回答した生徒が13名から2名に大幅に減少し、学校側の進路指導の充実がうかがわれます。内容的には、「日常の勉強」と「勉強と部活」などに関する回答が大幅に増加し、「良い成績を取る」「勉強と部活の両立を図る」などの具体的な目標を挙げる生徒が多くなっています。

Q4 部活動をどのように頑張ろうと思っていますか。また、部活動にどんなことを期待していますか。

例年と同様に、部活動に対しての関心は高く、回答率も96%の高さです。今年度は、「部の成績」に関するコメントが多く、具体的な目標を持つて部活動に取り組んでいることがうかがわれます。その他、「ボランティア活動」や「地域の人が喜ぶこと」などの回答があり、生徒の意識の中に地域とともに歩む姿勢の一端が見受けられます。

Q5 上士幌高校はどんな学校ですか。一言で表現してみてください。

上高は、学校生活で大切となる「生徒の居場所づくり」が確保されていることがうかがわれます。「校則・服装が厳しい」との声も一部ありましたが、全般的には、学校の校風・環境・雰囲気が良いという評価とともに、挨拶の励行や先生方の指導など、学校の教育活動・指導が高い評価を受けています。

Q6 振興会支援事業の中で、どの事業に魅力を感じますか。

Q7 これからの振興会事業に追加してほしいものはありますか。それは何ですか。

魅力となっている支援策は、「通学費の全額補助」「学校給食に伴う支援」「修学旅行の定額補助」がベスト3となっています。今後に関しては、「特にありません」「今のままで十分」の回答率が8割近くを占め、多くの生徒が満足、若しくは肯定的に捉えていることがうかがわれます。

※お問い合わせは、教育委員会(☎213014)土肥まで